



地域の植樹祭に参加しました

春を思わせる暖かい日だった2月25日、海陽町神野の町有林において、地元住民、海陽町、森林組合、徳島県南部総合県民局、徳島署など総勢60名が参加して「癒やしの森づくりボランティア」が行われました。「上流域は下流域を想い、今日は桜を植えましょう。」との前田町長の挨拶の後、参加者全員で植樹会場に移動し、県南部総合県民局、海陽町の指導の下、ソメイヨシノなど4種、260本の桜を、ふだん使い慣れていない鎌に悪戦苦闘しながらも、心地よい汗を流し、丁寧に植え付けしていきました。徳島森林管理署では、このような活動に積極的に参加していきます。



多くの方が参加しました



子供も元気よく参加



徳島署からも参加



丁寧に植え付けました



職員の講話を聞く児童



多くの児童が質問



木の利用について説明



思い思いに作品づくり

子供たちへの森林環境教育を行いました

国産材自給率50%を達成していくには、多くの国民が木材利用に関心を持ち、普段から生活の中で木材(国産材)を適材適所で使っていくことが重要です。このため、徳島森林管理署では、特に次世代を担う子供たちを対象にした森林環境教育に積極的に取り組んでいます。2月15日には、上八万小学校の児童41名を、また2月28日は、みずほ保育園の幼児18名を対象に森林環境教育を行いました。特に、みずほ保育園での木工教室では、小さい幼児たちは普段目にする事のない珍しい木の実や、様々な形をした木の枝を材料に、思い思いの作品を作っていました。今回参加した子供たちが、木材に親しみを持ち、将来にわたって生活の中に木材を利用していくことに繋がればと、これらの活動に積極的に取り組んでいきます。

地域の森林・林業の再生に向けた取組

徳島署では、これまで**公益重視の管理経営の推進**、**地域の森林・林業の再生への貢献**などに積極的に取り組んでいますが、次年度もこれらに果敢に取り組んでいくとの方針の下、現在、平成29年度の各種事業の準備を進めています。特に、地域の森林・林業の再生への貢献については、「**今、国有林が何に取り組んでいるのか**」を前広に発信していき、その過程で管内の市町村をはじめとする関係機関等からの要望や地域が抱える森林・林業の再生に向けた課題について国有林が把握し、その課題解決に向け、関係する機関、団体等と連携して取り組む**(民国連携)**こととしています。徳島署では引き続き、これらの活動に積極的に組んでいきます。



民有林との情報共有



担い手育成への支援



民有林との現地検討



給湯施設技術向上へ取組



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1



国民の森林・国営林